

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	460 乳幼児の育成指導事業	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
基本 施策	08 子どもを産み育てやすい環境をつくる	目	01	保健衛生総務費
		細目	241	母子保健事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	02	乳幼児の育成指導事業
担当部課	コード	653000	担当者 氏名	小田真規子
	名称	阿山支所住民福祉課	連絡先	43 - 0332 (内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	乳幼児及びその保護者	※対象件数	70組
成果(どうする)	乳幼児相談事業、こんには赤ちゃん訪問事業等を通じて保護者の子育て不安の軽減ができる。また、保護者同士のつながりができることで情報交換やストレスの軽減、孤立化や虐待の防止につながる。		
根拠法令・要綱等	母子保健法		
開始年度	平成 16 年度	関連事業	
終了年度	平成 年度		
H22 事業 内容	乳幼児相談～月1回第2水曜日 身体計測・育児や栄養についての相談に保健師や栄養士が応じる こんには赤ちゃん訪問～出生後2ヶ月以内の乳児訪問を実施し、育児環境の把握、育児相談		
社会情勢 の変化等	子育て支援事業の充実を図り、心身ともに健やかな児の成長発育を支援する		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
乳幼児相談実施回数		回	目標	12	12	12
			実績	12	12	12
こんには赤ちゃん訪問件数		件	目標	53	47	45
			実績	51	45	45

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
乳幼児相談来所者数		参加者数により子育て不安を抱えている方を把握し回数を設定する	人	目標	230	350	290
				実績	357	279	270
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金	89	72	80	80
	県支出金				
	地方債				
	その他	0	0	0	0
	一般財源	89	72	80	80
事業投入人件費(B)		0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440
フルコスト(A)+(B)		1,529	1,512	1,520	1,520

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
有効性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
達成度	民間のサービスだけでは地域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
効率性	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	
改善策	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
昨年度の取組状況	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	今後も事業の推進を図り、事業の紹介啓発にも努める。赤ちゃん訪問事業について、けいかてきなに保健師が行っており、今のところ事業は滞っていない。今後の状況を把握していく。
昨年度の取組状況	【詳細】 計画のとおり進んでいる こんには赤ちゃん訪問 45件(95.7%)乳幼児相談12回 279組参加

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	福田真由美
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 各家族が多くなり、保育者の子育て不安の軽減や情報交換の場は必要で、今後も継続して事業の推進を図る必要がある。
現時点における課題、その他	施設は充実しており、事業も計画的に進んでいる。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	今後も事業の推進を図り、事業の紹介等啓発にも努める。赤ちゃん訪問事業について、計画的に保健師が行っており、事業の滞りはない。